

平成 16 年 3 月期

第 1 四半期の業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 8 日

上場会社名 株式会社エスケイジャパン

（コード番号：7608 東証・大証 第二部）

（URL <http://www.sk-japan.co.jp>）

代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 久保 敏志

問合せ先責任者 責任者役職・氏名 取締役管理部長 川上 優 （TEL (06)6765-0670）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 業績

（千円未満切捨て）

(1)平成 16 年 3 月期第 1 四半期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）の業績

	15 年 3 月期第 1 四半期 （前年同四半期）	16 年 3 月期第 1 四半期 （当四半期）	対前年同期増減率	参考 前期（通期）
売上高	千円 1,857,074	千円 2,434,500	% 31.1	千円 7,968,650
営業利益	106,092	240,962	127.1	526,158
経常利益	99,369	239,776	141.3	494,590

(2)販売の状況

業態別売上高

（単位：千円、％）

			15 年 3 月期第 1 四半期 （前年同四半期）		16 年 3 月期第 1 四半期 （当四半期）		参考 前期（通期）	
			売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
ア ミ ュ ー ズ メ ン ト	オ ペ レ ー タ ー	メーカー系	126,244	6.8	122,746	5.0	426,870	5.4
		量販店系	91,169	4.9	137,853	5.7	419,993	5.3
		ショッピングセンター系	178,047	9.6	278,983	11.4	786,795	9.9
		路面店	995,611	53.6	1,301,888	53.5	4,405,641	55.3
		遊園地等	21,131	1.1	16,276	0.7	83,503	1.0
	ディスプレイ	97,157	5.2	148,240	6.1	435,795	5.5	
	SP 部門	38,215	2.1	45,617	1.9	167,902	2.1	
小 計			1,547,577	83.3	2,051,606	84.3	6,726,501	84.5
物 販	問 屋	52,914	2.9	43,902	1.8	169,402	2.1	
	小売店	256,582	13.8	317,993	13.0	1,044,045	13.1	
小 計			309,496	16.7	361,895	14.8	1,213,448	15.2
その他					20,998	0.9	28,700	0.3
合 計			1,857,074	100.0	2,434,500	100.0	7,968,650	100.0

(注) 1. メーカー系とは、アミューズメント機器を製造している企業のことです。

2. 量販店系とは、大手量販店（スーパー等）のアミューズメント部門のことです。

3. ショッピングセンター系とは、量販店やショッピングセンターのテナントとして店舗展開している企業のことです。

4. ディストリビューターとは、アミューズメント施設へのアミューズメント機・景品等の販売を主業とし、アミューズメント施設を運営していない法人または個人のことです。

5. SPとは、セールスプロモーションの略称であり、SP部門は企業プレミアム商品の企画・販売を担当する部署のことです。

6. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

商品分類別売上高

(単位：千円、%)

	15年3月期第1四半期 (前年同四半期)		16年3月期第1四半期 (当四半期)		参考 前期(通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自社企画商品	24,616	1.3	33,324	1.4	120,683	1.5
キャラクター商品	395,815	21.3	265,526	10.9	1,353,768	17.0
仕入商品	1,436,643	77.4	2,135,648	87.7	6,494,198	81.5
合計	1,857,074	100.0	2,434,500	100.0	7,968,650	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 主な資産・負債の変動について

項目	16年3月期第1四半期	増減額	前期末
(資産)	千円	千円	千円
現金及び預金	1,250,635	301,170	949,464
棚卸資産	459,061	221,966	237,094
繰延税金資産(流動)	82,483	36,726	45,757
(負債)			
買掛金	1,148,537	257,166	891,371
短期借入金	482,992	305,290	177,702
未払金	79,949	51,447	131,397
賞与引当金	71,313	34,980	36,332

(注) 当四半期および前年同四半期に係る数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

3. 業績の概況

(1) 当四半期の状況

当四半期の状況は、アミューズメント業界向け販売事業・物販業界向け販売事業ともに好調であり、売上高 2,434 百万円(前年同期比 31.1%増)、経常利益 239 百万円(前年同期比 141.3%増)と増収増益となりました。

(2) 部門別の状況

〔アミューズメント業界向け販売事業〕

当四半期におけるアミューズメント業界向け販売事業は、圧倒的な人気キャラクターが少なく、個性的だが小粒といったものが大半を占めておりましたが、このような状況の中、当社は仕入商品の調達力を発揮し、幅広い商品を取引先に供給することができました。特に、郊外の複合施設や都心の大型アミューズメント施設等、集客力のある店舗をチェーン展開している取引先への販売を強化した結果、ショッピングセンター系オペレーター、量販店系オペレーター、路面店への売上高はそれぞれ前年同期比 56.7%、51.2%、30.8%増と好調に推移しました。

また、SP部門におきましては、外食チェーンやアミューズメント施設のキャンペーン商品、旅行会社の販促

商品等の別注が決まり、売上高は45百万円（前年同期比19.4%増）と増収となりました。

以上の結果により、売上高は2,051百万円（前年同期比32.6%増）と増収となりました。

〔物販業界向け販売事業〕

当四半期における物販業界向け販売事業は、新規の販売ルートである大手チェーン店や既存量販店の新店舗出店に伴う取引の拡大、また積極的な営業活動により新規の得意先を開拓したことに加え、企画商品を受注したことにより、売上高を伸ばすことができました。

商品面では、ぬいぐるみやキャラクター関連のバラエティー雑貨、キーホルダー類の品揃えの拡充と販売強化を図り、それぞれ152百万円（前年同期比28.9%増）、102百万円（前年同期比11.3%増）と前年を上回る実績となりました。

以上の結果により、売上高は361百万円（前年同期比16.9%増）と増収となりました。

4. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	4,472	319	160
通期	8,900	605	320

〔業績予想について〕

第1四半期の業績は、当初の予想を大きく上回り、平成15年5月9日付発表の中間期および通期の業績予想にも少なからず影響を与える可能性が高まったため、当初の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成16年3月期 業績予想（連結、単独）の修正について」をご参照ください。

（参考）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	3,770	345	188	6 00		
通期	7,350	620	337		6 00	12 00

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。